

白山麓自然環境活用調査報告書

1988年3月

石川県白山自然保護センター

はじめに

白山麓の山村には、近年まで焼畑（ナギ畑）や出作りが見られ、これら伝統的生活は全国的にもよく知られてきました。ところが、昭和30年代から40年代にかけての高度経済成長期に伝統的な生活形態は急激に崩壊し、現在では大部分が消滅してしまったか、あるいは消滅寸前の状態にあります。しかも、かつての焼畑・出作り経験者は高齢化が進み、今のうちに山村の文化を記録しておくことが急務となっています。

石川県では、昭和60年度から62年度までの3か年間にわたって“白山麓自然環境活用調査事業”を行ない、今ではあまり見られなくなった山村の生活を掘り起こし、その記録を本書にまとめました。今回の調査では、出作りの分布、焼畑の概要、野生動植物の利用といった山林原野における伝統的資源活用の状況と、山麓の村々の行事・慣行を取り上げました。これらを記録に残す一方で、現在の社会情勢の中でも十分に活用できるものがあるかどうかを探るための資料とすることも調査の目的の一つでした。本報告書が、白山麓山村の生活文化を見直し、住民の心の豊かさを高め、観光資源等の活用の一助となれば幸いです。

本調査に際しては、橋礼吉・山口一男・沢与吉・千葉徳爾・叶内敦子の各氏に多大な御協力をいただきました。深く感謝するしだいで。

昭和63年3月

石川県環境部長 藤 沢 稔

白山麓自然環境活用調査目次

I. 林野利用状況	1
1. 出作りと焼畑	1
(1) 出作りの概要	1
①出作りとは	1
②出作り地の生活	3
③出作り地の土地利用	3
(2) 出作りの分布とその考察	8
①白峰村大道谷の出作り	9
②白峰村桑島の出作り	18
③出作りの分布と形態に関する考察	25
(3) 焼畑の概要	29
①白山麓の焼畑用地ムツシについて	29
②焼畑農耕における栽培適地について	34
③白山麓の焼畑語彙	36
2. 林野産品利用	38
(1) 野生植物の利用	38
(2) 野生動物資源の利用	40
(3) 樹木資源の利用	42
II. 伝統的生活と慣行	49
1. 冬の生活	49
(1) 雪とのかかわり	49
(2) 冬の仕事	52
2. 伝統行事・慣行	55
(1) 共同作業	55
(2) 宗教行事	57
(3) お祭り・年中行事	58
III. 今後の山村の展望	62
文献・資料	64
執筆者・調査協力者一覧	65